



SUPPORTING
CHINA
BUSINESS

LT Commerce Consultants (Shanghai) Co., Ltd.

2010年5月18日

「LT会」会報第10-8号(総66号) 人民元為替レート上昇再開まで秒読みか？

上海良図商務諮詢有限公司

2008年9月、リーマン・ショックによる世界金融危機のあおりを受けた中国輸出企業の打撃を和らげるため、中国政府は2005年7月に導入した人民元為替レートの通貨バスケット制変動を凍結し、実質人民元為替レートの上昇の抑止と輸出増値税還付率の引き上げ等の対応策を取った。その結果、中国経済はいち早く回復軌道に乗り、世界経済回復の牽引役を果たした。一方、貿易額は大幅な黒字を計上しているため、人民元為替レート固定相場を維持する半面、犠牲も払っている。最近中国の資産バブルの一因はドルを買い支え、金融市場に人民元を過剰供給しているためとも言われている。中国経済の好調と人民元の先高を見越して、一部投機資金も中国に流入していることから、金融市場の人民元資金供給が加速した形となった。

ここに来て、中国政府も資産バブルの抑制に乗り出し、不動産への融資規制などの手段を講じているが、その効果はまだ表れていない。金融面においても市中資金を吸い上げるため、銀行の預金準備率を今年に入ってから既に3回に渡って引き上げた。一方、人民元固定相場を変えない限り、ドル買い支えのため、市中に人民元を放出し続ける結果となる。加えて、世界の景気回復傾向により、資源の需要増によるインフレもじわじわと中国経済に影響を及ぼし始めている。今年4月中国のCPIは前年同期比2.8%の上昇となり、2008年11月以来18カ月ぶりの物価上昇率となった。

かかる状況下、中国国務院を始め、中国人民銀行、商務部以外の関連部署は中国の人民元為替レート切り上げを容認し始めている。特に中国人民銀行行長周小川は3月6日に「目先の中国の為替レートメカニズムは特殊な時期の特殊措置であり、中国の世界金融危機への対応策の一つである。このような措置は何れかの時期に出口問題に直面する」という発言があった。

また、5月10日付け中国人民銀行が公表した「2010年第一四半期中国通貨政策実行報告」に2008年以降再び人民元為替レートがバスケットを参考にするという表現をしたため、市場は中国の為替レート改革のシグナルと見て、一年先のNDF（ノンデリバラブルフォワード・Non Deliverable Forward）人民元の対米ドル為替レートは1米ドル＝6.5865人民元（参考：現在6.82）となっている。

中国はメンツにかけて、欧米等からの外部圧力による通貨切り上げを絶対に受け入れたくないが、現在欧米主要国がギリシャ経済危機に端を発するユーロ下落への対応に追われている中、人民元為替レートの切り上げ議論が遠退いた時期に、中国にとって人民元為替レート切り上げの絶好のタイミングが来ているのではないだろうか。

以 上